

# 平成28年 熊本地震 本部義援金授与式

2016年8月10日(水)熊本地震より4ヶ月が過ぎ、倒壊家屋の撤去・屋根瓦の修理などが進みつつある熊本に、本部より楊進理事長、楊慧副理事長、佐山一夫事務局長をお迎えし、義援金授与式が執り行われました。益城町にこだわりたいとの理事長のお話により、会場を益城町交流情報センターに設定しました。

空港に到着された御三方に、布田川断層に沿った震源地を視察していただきました。全壊の益城町教室講師宅に立ち寄り、地盤沈下1.5mの説明を受けました。一帯は全壊率87%で、被害の甚大さに言葉をなくし、呆然と立ちつくされている姿が印象的でした。



授与式の会場には熊本県支部役員、益城町講師、生徒のみなさんが既に集合していました。



牟田敏子支部長、荒木ひとみ本部理事は、全国の本部会員・各県支部会員・愛好者のたくさんの皆さまの励ましと多額の義援金を頂戴することに心からのお礼を申し上げますと挨拶しました。また楊進理事長が熊本県支部の我々を心配して下さい、応援を呼び掛けてくださったことに感謝を伝えました。

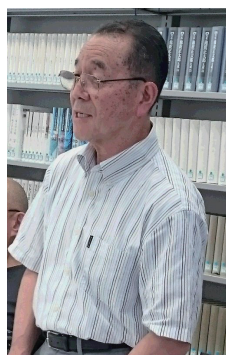


理事長からは、被災された方々への励ましと、熊本の復興を願うお話がありました。

楊慧副理事長からは、復興へ向けて前向きに進んでほしいと強く願っています。全国の同学へも熊本の皆様のことを伝えていきたいと話されました。



佐山一夫事務局長は、義援金募集の経緯を説明され、全国支部と会員個人と、大勢の方々から義援金の協力が得られたとの報告がありました。





楊進理事長より、牟田敏子支部長へ義援金目録が渡されました。



楊名時太極拳事務所を代表して慧先生からも義援金が渡されました。

益城講師（4名）へ、それぞれ義援金と「55周年記念バッグ」が手渡されました。



被災者代表（河原三代志講師）よりお礼の言葉があり、滞りなく授与式は終了致しました。



近くの秋津川ほとりの木陰で、待っていた益城の生徒さん達と合流し、楊慧副理事長のリードで立禅、甩手、八段錦、不老拳を演舞しました。



気温 37 度の炎天下にもめげず、皆、心晴れやかに太極拳が出来たのではないのでしょうか。



熊本県支部では役員一丸となって被災者への配布作業を進めています。私たちは、楊名時太極拳の「同心協力」を身をもって知りました。

「為了明天」を目指して太極拳のすばらしさを実感し、継続して行きます。

全国の会員・愛好者の皆様、ありがとうございます。